

● 地域提案型

平成21年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	モンゴル
2. 事業名	モンゴル中央県・中央病院における妊産婦の健康管理向上プロジェクト～妊娠高血圧症候群の「予防」「発見」「治療」の技術移転～
3. 事業の背景と必要性	モンゴルにおける母子医療は発展途上であり、妊産婦死亡率、新生児死亡率ともに先進国にはほど遠い状況にある。このような状況の中で、モンゴルにおいては妊産婦死亡率をミレニアム開発目標に従い2015年には出生10万人に対して50人まで削減することに取り組んでいる。モンゴル中央県においても、母子医療に関する一層の増進が必要であるとの方針を打ち出しており、1994年から友好関係のある鳥取県に妊産婦の健康管理向上及び妊産婦死亡率削減のための医療技術協力について強い要望があった。
4. プロジェクト目標	モンゴル中央県に妊娠高血圧症候群（PIH）の「予防」「発見」「治療」の技術が移転される。
5. 対象地域	モンゴル中央県
6. 受益者層	モンゴル中央県の産婦人科医師、助産師、看護師等の医療スタッフ
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中央県中央病院及び町病院の産婦人科医師により、PIHの適切な「予防」「発見」「治療」が実践される。 2. 中央県中央病院等のコメディカルにより、PIHの適切な「予防」「発見」が実践される。 3. 中央県中央病院及び町病院の医療機器（ドプラ、超音波診断装置、NST（ノンストレステスト）等）で、適切に妊産婦の周産期管理ができるようになる。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 研修員（中央病院等の医師）を選定する。 1-2 研修員（医師）を受入れ、PIH技術を指導する。 1-3 研修を受けた医師が、他の一次医療機関の医師にPIH技術を講習する。 1-4 医師を派遣し、中央県内の病院のPIH医療技術のフォローアップを行う。 2-1 研修員（中央病院等のコメディカル）を選定する。 2-2 研修員（コメディカル）にPIH技術、周産期管理を指導する。 2-3 中央病院のコメディカルにより「母親学級」が開催される。 2-4 助産師を派遣し「母親学級」の状況を確認、フォローアップを行う。 3-1 中央県中央病院にドプラを提供する。 3-2 ドプラの適切な使用方法等を指導する。 3-3 中央病院の医師等にNSTの使用法等を指導する。 3-4 中央病院の医師に超音波診断装置を用いた適切な診断技術を指導する。 3-5 中央県内の町病院に超音波診断装置を用いた適切な診断技術を指導する。 3-6 終了時評価調査を実施する。
8. 実施期間	2010年5月～2013年2月
9. 事業費概算額	12,399千円
10. 事業の実施体制	鳥取県立中央病院、鳥取県文化観光局交流推進課 （協力）鳥取県栄養士会、鳥取県モンゴル中央県親善協会 モンゴル中央県中央病院、モンゴル中央県政府
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	鳥取県
2. 対象国との関係、協力実績	1998年度から2004年度にかけてJICA草の根技術協力事業（地域提案型）を実施し、計4名の医師を医療研修員として受入れた。また、2007年度には鳥取県立中央病院の医師等を派遣し、現地の医療状況等を視察するとともに、過去研修生との面談を行い、今後の医療交流について協議を行った。